

第2回「世界の多言語・多文化社会研究」シンポジウム

# ゆらぐ境界、交わる人びと： 「日本人」を再考する

[基調講演]

スティーブン・マーフィ重松 (スタンフォード大学)

「越境するアイデンティティ——  
われわれ／かれら意識の壁を乗り越える」

[対談]

森巢博 (作家)



スティーブン・マーフィ重松 (スタンフォード大学)

〈司会〉尹慧瑛 (東京外国語大学)

[研究報告]

武田里子 (多言語・多文化教育研究センターフェロー)  
「多文化家族」の可能性——  
結婚移住女性の需要・適応過程と農村社会の変容

藤田美佳 (神奈川大学非常勤講師)  
帰化しても僕は「日本人」になるんじゃないよ——  
母親の再婚によって来日した子どもの国籍取得と  
アイデンティティをめぐって

金戸幸子 (多言語・多文化教育研究センターフェロー)  
「社会移民」?——  
台湾在住日本人のシティズンシップ獲得をめぐる  
複合的な戦略

[全体討論]

〈司会〉青山亨 (東京外国語大学)  
〈パネリスト〉岩崎稔 (東京外国語大学)  
北脇保之 (東京外国語大学)  
藤井毅 (東京外国語大学)  
尹慧瑛 (東京外国語大学)

[日時] 2010年2月21日(日) 10:00～17:45

[会場] 東京外国語大学 研究講義棟 227教室

[定員] 200名

[参加費] 無料(懇親会のみ3,000円)

[主催] 東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター

[申し込み方法] センターホームページより

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/index.html>

[問い合わせ] [sekai-sympo@tufs.ac.jp](mailto:sekai-sympo@tufs.ac.jp) (担当:尹慧瑛)